

## 新 着 資 料 の 紹 介

### 資 料 室

1) 全ソ地質研究所報告, 第147巻(1969):「Слюда и пьезооптическое сырье (雲母とピエゾ光学原料資源)」, 第2集, 263 p., 26 cm × 17 cm (露文), UDC—553.6

#### 目 次

#### 第1部 雲母鉱床・ピエゾ光学原料資源鉱床の地質と成因

В. А. Бабошин: 雲母鉱床域におけるペグマタイトの堆積岩石学的規制現象の形態について, p. 7 ~ 20, 図1, 文献46

А. С. Никаноров: 白海変成岩コンプレックスのペグマタイトの成因について, p. 21 ~ 57, 図20, 表1, 文献69

В. В. Зарубин: 北カレリア地方テジノ鉱床ペグマタイト脈の母岩の特徴と分布の規則性, p. 58 ~ 70, 図4, 表1, 文献12

Я. Н. Соколов: スカルン体中の水晶脈, p. 71 ~ 109, 図17, 表3, 文献12

А. В. Осинский: 天山地方マイダントリ水晶-長石鉱床, p. 110 ~ 147, 図15, 表6, 文献15

В. А. Бабошин: ザバイカル地方ペグマタイトにみられる接触変質帯の特徴, p. 148 ~ 164, 図9, 表1, 文献41

И. А. Львова: ポタニンスキー蛭石鉱床の成因に関する問題に寄せて, p. 165 ~ 190, 図7, 表4, 文献45

Е. В. Настасиенко: ウガマ河盆地方解石鉱体生成作用の特徴, p. 191 ~ 204, 図8, 表1

П. П. Боровиков: 白雲母・金雲母・蛭石各鉱床の成因的分類, p. 205 ~ 225, 表6, 文献51

#### 第2部 予測図・大縮尺地質図作製法の問題

Г. Ш. Меламед, Ю. Е. Рыцк: 北カレリア地方雲母鉱床における大縮尺地質図化の場合の地球物理学的方法の利用結果とその地質学的解釈, p. 229 ~ 247, 図4, 表3, 文献7

Н. И. Ильин, А. В. Скропышев, Е. В. Настасиенко: シベリア卓状地地域における氷州石鉱床予測図の組立法について, p. 248 ~ 260, 文献11

2) С. В. Нечаев (1970): 「Минерализация волновахской зоны разломов (ボルノバフ断層帯の鉱化作用)」, ナウコバ ドウムカ出版所, 172 p., 図22, 写真21, 表26, 文献106, 20 cm × 14.5 cm (露文), UDC—553.2

#### 目 次

#### 第1章 地質概説

構造地質上の位置 地質構造

#### 第2章 地質構造と関連ある鉱化作用・鉱石コンプレックスのタイプ

マグマ分化型 接触交代型 熱水—交代型 表成型

#### 第3章 鉱物学

硫化物 複硫化物 酸化物・含水酸化物 珪酸塩 炭酸塩 硫酸塩

弗化物

#### 第4章 鉱化作用条件

同生鉱化作用 後生鉱化作用

まとめ

3) Ю. А. Кузнецов, В. И. Богнибов, А. Н. Дистанова, Е. С. Сергеева (1971):

「Раннепалеозойская Гранитоидная формация Кузнецкого Алатау (クズネツク アラタウ地方初期古生代花崗岩類岩系)」, ナウカ出版所, 352 p., 図97, 表34, 文献 190, 26.5 cm × 17.5 cm (露文), UDC—551.22/551.732.2.3.4 (571.15)

目次

ウレニ・ツイム花崗岩類コンプレックス

ツイム・プルトン

研究史 ツイム区の地質 ツイム・プルトンの側岩とプルトン生成作用マグマ分化期における側岩の再編成 ツイム・プルトン第1生成相のマグマ分化岩 ツイム・プルトン第2生成相の斑状および等粒質花崗岩・優白質花崗岩および花崗斑岩・半花崗岩類 ツイム・プルトンを切る塩基性・中性岩脈 スカルンおよびスカルン周辺の輝石—斜長石岩

ウイバート・プルトン

研究史 ソルススク-ウイバート区の地質 側岩とウイバート・プルトンの生成によるその再編成 ウイバート・プルトン第1生成相のマグマ分化岩 ウイバート・プルトン第2相の優白質花崗岩など ウイバート・プルトン花崗岩類を切る先デボン紀塩基性・中性岩脈 脈状珪アルカリ玢岩とソルゲレート角礫岩 ミヌシンスク凹地周縁部の下部デボン紀火山作用と関係ある岩脈コンプレックス 輝石—斜長石岩, 輝石—アンチパーサイト岩, 「ズビヤトノサイト」スカルン ツイム・プルトンとウイバート・プルトンの岩石化学的特徴

チゲルトイシュ・プルトン

研究史 チゲルトイシュ・プルトンの地質学的・岩石学的特徴 チゲルトイシュ・プルトンの岩石化学的特徴 チゲルトイシュ・プルトンの花崗岩類を切るデボン紀岩脈 チゲルトイシュ・プルトンの胚胎鉱床の特徴 チゲルトイシュ・プルトンの生成条件

サラリンスキー・プルトン

サラリンスキー区の地質概説 サラリンスキー・プルトンの地質構造 サラリンスキー・プルトン花崗岩類の岩石化学的特徴 サラリンスキー・プルトンの花崗岩類を切るデボン紀岩脈 サラリンスキー・プルトンの花崗岩類の生成条件について

マルタイガ花崗岩類コンプレックス

研究史 マルタイガ・コンプレックスのプルトンの地質構造

東部プルトン群

コジュホフスキー・プルトン

地質学的—岩石学的特徴 岩石化学的特徴 胚胎鉱床の特徴 コジュホフスキー・プルトンの生成条件について

ツェントラリニンスキー・プルトン

地質構造の特徴 ツェントラリニンスキー・プルトンの岩石化学, 岩石成因論, 胚胎鉱床の諸特徴

ソボリンスキー・プルトン

ドウデツキー・プルトン

西部プルトン群

フェドトフスキー・プルトン

地質学的—岩石学的特徴 フェドトフスキー・プルトンの岩石化学的特徴 フェドトフスキー・プルトンの花崗岩類の起源について

ウルガダツキー・プルトン

地質学的—岩石学的特徴 ウルガダツキー・プルトン花崗岩類の岩石化学的, 岩石成因論的特徴

オリガ・プルトン

マルタイガ・コンプレックス花崗岩類貫入体の生成条件と生成形式

テリベス花崗岩類コンプレックス

ゴルナヤ・ショーリア山脈テリベス区のマグマ活動 研究史 地質概説 テリベス・コンプレックスの量

テリベス・プルトン

マグマ分化岩・側岩変質生成体の地質と岩石 テリベス・プルトンの生成深度 岩脈

オルトン・プルトン

ポロジンスキー・プルトン

テリベス・コンプレックス花崗岩類の岩石化学的特徴

テリベス・コンプレックスの絶対地質年代について

テリベス・コンプレックスの鉱床成因論的特徴

テリベス・コンプレックスの生成位置と花崗岩類の起源の問題

クズネツク・アラタウ地方初期古生代花崗岩類の相対的特徴

結論

4) **A. H. Lang (1970)**: 「Prospecting in Canada」, Geological Survey of Canada, 4th edition, 308 p., 37 Fig., 86 Plate, 7 Appendices, 28.5 cm × 22.5 cm (英文), UDC—553

目次

1. Prospecting: past, present and future p. 2 ~ 11 (6項目)
2. The foundations of geology p. 12 ~ 27 (5項目)
3. Minerals and rocks p. 28 ~ 39 (11項目)
4. Mineral deposits p. 40 ~ 63 (28項目)
5. Outline of the geology of Canada p. 64 ~ 77 (21項目)
6. Obtaining instruction p. 78 ~ 81 (5項目)
7. Equipment and travel p. 82 ~ 95 (7項目)
8. Maps, reports, and air photographs p. 96 ~ 105 (9項目)
9. Conventional methods of prospecting p. 106 ~ 115 (5項目)
10. Advanced prospecting in general p. 116 ~ 123 (6項目)
11. Geology in advanced prospecting p. 124 ~ 134 (14項目)
12. Geophysical prospecting p. 135 ~ 167 (22項目)
13. Geochemical prospecting p. 168 ~ 183 (21項目)
14. Judging and testing mineral deposits p. 184 ~ 208 (12項目)
15. Individual metals and minerals p. 209 ~ 249 (63項目)
16. Placer and small-scale lode mining p. 250 ~ 263 (12項目)
17. Mining laws and other business matters p. 264 ~ 273 (29項目)

5) 「**Материалы по литологии, стратиграфии и палеогеографии** (堆積岩石学・層位学・古地理学資料)」, 全ソ地質研究所報告, 新シリーズ, 第127巻, 1970, 27 cm × 18 cm (露文), UDC—55 (082) (47 + 57)

目次

- Василий Петрович Нехорошев (Vasilii Petrovich Nekhoroshev) の業績, p. 5 ~ 6
- В. П. Нехорошев: ロシア—ソ連地質事業80年とその中での全ソ地質研究所の役割, p. 7 ~ 31, 図7
- А. И. Кукушкин: 白海地方始生代片麻岩中の初成組織レリクトとその層位学的意義, p. 32 ~ 42, 図4, 参6
- М. А. Черноморский, Б. А. Блюман: 西ツバー・西サヤーン・ゴルヌイアルタイ諸地方変成岩層の層位学的位置と絶対年代について, p. 43 ~ 56, 図3, 表1, 文献18

- К. Н. Коношков : 西サヤーン地方カンブリア系の層序とその古生物学的根拠, p. 57 ~ 63, 文献10
- А. Д. Петровский : 南ウラル・北ムゴジャール両地方サクマリアン構造相帯のオルドビス紀層, p. 64 ~ 75, 表1, 文献8
- Л. Э. Алексеева, Э. Н. Янов : チャガン-ウズン川盆地デボン系の層序, p. 76 ~ 86, 図1, 表1, 文献13
- В. И. Васильев : ツバー地方下部石炭系の相, p. 87 ~ 102, 図3, 表1, 文献13
- И. А. Сиверцева : ツングースカ盆地古生代後期裸子植物新種花粉, p. 103 ~ 110, 図2, 文献14
- С. Л. Потапов : シベリア卓状地白亜系の層序と生成条件, p. 111 ~ 131, 図3, 文献13
- Э. Я. Яхнин : ツアルクイル地方アプト階・オーブ階堆積層中の微量元素と堆積条件解明への意義, p. 132 ~ 138, 図3, 文献10
- Р. П. Соболева : クイズイルクム地方中部のシャンパーニュ階区分について, p. 139 ~ 173, 図9, 表10, 文献39
- Т. Д. Зонова : Inoceramus Uwajimensis 群の上部白亜紀 Inoceramus とその層位学的意義, p. 174 ~ 202, 図7, 表7, 文献15
- А. И. Коробков : 北ウスチュールト地方・北プリアラル地方上部漸新統の構造と動物化石の特徴に関する問題に寄せて, p. 203 ~ 206, 文献15
- А. И. Айнемер : サウングース・カラクム東部新第三紀風成層について, p. 207 ~ 217, 図4, 表1, 文献16
- Ю. Р. Ткачев : 北カラクム地方上部鮮新世について, p. 218 ~ 225, 図4, 文献8
- Ф. А. Каплянская, В. Д. Тарноградский : 北ウラル地方とザウラル地方の後氷河期における周氷食現象, p. 226 ~ 235, 図7, 文献20

6) ソ連科学アカデミー堆積岩委員会編 (1971) : 「Литолого-фациальный анализ осадочных рудоносных формаций Al-Fe-Mn (堆積性 Al-Fe-Mn 含鉱層系の堆積相解析)」, 90 p., 21.5 cm × 15.5 cm (露文), UDC—553.068/31.32.492

#### 目次

- В. А. Бронева ほか3名 : 堆積性含鉱層系の区分法則と類型化法則, p. 5 ~ 6, 表1
- Б. М. Михайлов : ソ連の含ボーキサイト層系の構成と分布規則性, p. 6 ~ 8
- Ю. В. Баталин, Е. Ф. Станкевич : 高アルカリ鉱水を有する盆地中のアルミニウムと鉄の集積について, p. 8
- В. П. Рахманов, В. К. Чайковский : 堆積性含マンガン鉱層系の成因型式, p. 9 ~ 10
- А. Д. Петровский : ソ連の火山源—堆積性含マンガン鉱層系の問題について, p. 10 ~ 12
- Ю. И. Ким, Г. В. Куликова : 含ボーキサイト層系およびそれと関係する鉄鉱層系の生成時における鉱化作用の特徴, p. 12 ~ 14
- В. А. Теняков : 卓状地性・地向斜性ボーキサイトの起源問題と生成方式, p. 14 ~ 16, 表1
- С. В. Левченко : アルタイ-サヤーン褶曲区カレドニアン発展期の鉱床生成期と含鉱層系について, p. 17 ~ 19
- Б. Н. Одокий : ボロネージュ陸背斜南西斜面のボーキサイト堆積層系, p. 19 ~ 20
- А. У. Абдуллаев : 中央アジア含ボーキサイト層と地向斜性含ボーキサイト層系の層解析の問題に寄せて, p. 20 ~ 21
- В. Х. Геворкьян : ウクライナ楕状地南斜面下部白亜系のボーキサイト埋蔵性の若干の問題, p. 21 ~ 22
- А. Д. Додатко ほか3名 : ウクライナ楕状地の古期風化殻とそのアルミニウム鉱床・鉄鉱床・マンガン鉱床の生成に対する役割, p. 23 ~ 24
- Н. П. Хожаинов, В. Н. Бунеев : クルスク磁気異常地域ビゼアン階含ボーキサイト層群の堆積相解

析, p. 24 ~ 26.

A. E. Лукин: ドン-ドニエプル凹地のボーキサイト埋蔵性の展望, p. 26 ~ 27.

P. И. Ерошевская: ウラル山脈北部東側斜面のデボン紀ボーキサイトの堆積相的生成条件と成因, p. 28 ~ 30.

V. H. Демина: 堆積性ボーキサイトの組成と構造に対する相環境・二次変質の影響, p. 30 ~ 32.

И. С. Сидорова: チマン地方におけるビゼアン階陸成層形成作用の堆積相・古地理条件とそのボーキサイト埋蔵性との関係, p. 32 ~ 33.

V. Г. Свиридов: サライル地方下部アイフェリアン階含ボーキサイト層群の構造の諸規則性, p. 34 ~ 35.

V. M. Новиков: ラテライト質風化殻と堆積性ボーキサイトの関係について, p. 35 ~ 36.

Д. А. Венков: ツルガイ凹地西部における含ボーキサイト累層の構造と組成, p. 36 ~ 37.

С. Б. Потрикеев: ツルガイ凹地のボーキサイト鉱床の賦存位置と構造に対する古生代基盤構造の影響について, p. 37 ~ 38.

E. H. Куземкина: 炭質ボーキサイトの問題と成因について, p. 39.

V. И. Сорочинская: ツルガイ凹地西縁含ボーキサイト層の鉱物共生・タイポモーフ, p. 40 ~ 41.

V. И. Попов, Л. П. Коннов, В. Ю. Запрометов, О. Д. Шевченко: 中央アジアにおけるボーキサイトの堆積・分布の諸特徴, p. 41 ~ 43.

Н. Н. Верзилин, О. А. Мироненко, Р. А. Михайлович: フェルガナー盆地ジュラ紀含鉄カオリナイト層・含ボーキサイト層の生成条件について, p. 43 ~ 45.

V. И. Тройкий: 中央アジア中生代含ボーキサイト亜層系の特徴, p. 45 ~ 46.

С. С. Шульц, Э. В. Малова, Н. С. Торшин: 天山山脈南部における古生代ボーキサイトの分布規則性, p. 47 ~ 48.

B. B. Шибистов ほか2名: エニセイ山脈の含ボーキサイト層とその生成条件, p. 49 ~ 50.

Ж. В. Домбровская: プリバイカル地方新生代盆地群のボーキサイト埋蔵性の展望, p. 50 ~ 51

A. Д. Слукин: シベリア地方の諸鉱床産ボーキサイトにおけるアルミニウム・鉄・マンガンの地球化学と鉱物学について, p. 51 ~ 53.

V. И. Ремизов: アルミニウム・鉄鉱両層系の物質組成の特徴, p. 53 ~ 55.

B. A. Богатырев ほか2名: 電子微分析計 JXA-5 によるボーキサイト・含ボーキサイト岩の化学組成と鉱物組成の研究, p. 55 ~ 56.

Л. Е. Крамаренко, О. Ф. Сафонова: ラテライト被覆層から分離した微生物の, 曹灰長石の分解に対する影響について, p. 56 ~ 57.

B. Ф. Горбачев, Г. Л. Миропольская: ロシア卓状地東部のデボン系含魚卵状層系柱状断面における含ボーキサイト層準と含鉄層準, p. 57 ~ 59.

A. П. Сигов: ウラル地方中生代・新生代アルミニウム鉄・鉄鉄・マンガン鉄の層序・地形・相配列, p. 59 ~ 60.

M. П. Дегтаев, К. П. Савельева: ウラル東斜面とザウラル地方における中生代・新生代ボーキサイト鉄・鉄鉄・マンガン鉄層系の生成条件と古地理, p. 60 ~ 62

E. Ф. Шнюков: 泥火山構造中における堆積性鉄鉄の生成過程, p. 62 ~ 64.

V. A. Кутний ほか2名: ノーボセーロフ鉄鉄床の後生鉱物, p. 64 ~ 65.

Г. Н. Орловский: タマン半島とカフカス地方北西部におけるキンメリアン期鉄化作用の主要要素, p. 65 ~ 66.

V. K. Чайковский, В. П. Рахманов: 堆積 (非変性) マンガン鉄の生成問題について, p. 67 ~ 68.

V. M. Попов, У. Асаналиев, Г. И. Давыдов: 堆積過程における鉄-マンガン鉄化作用と鉛-亜鉛鉄化作用の成因的關係について, p. 69 ~ 71.

A. Д. Петровский: 含マンガン鉄層系の岩石生成作用における外因性・内因性諸過程の役割に関す

る問題について, p. 71 ~ 72.

C. M. Тарасова, Ю. В. Миртов: クズネツキー—アラタウ地方リフェアン—下部カンブリア系含マンガン炭酸塩岩層系の物質組成と生成条件, p. 72 ~ 73.

B. B. Корабельникова, Е. П. Бессолицын: プリサヤン地方上部始生代火山源陸成炭酸塩岩質鉄—マンガン鉱層系, p. 73 ~ 75.

K. A. Григорьев: 中部カザフ地方サルイス—テニス隆起帯の中期古生代含マンガン層系と鉄—マンガン鉱床の成因問題, p. 75 ~ 76.

B. У. Урумбаев: ジェズダ・マンガン鉱床群の鉱体胚胎層の生成条件, p. 76 ~ 77.

A. A. Макушин: パシュキール—プリウラル地方上部古生代堆積層系中のマンガンなど有用鉱物の分布規則性について, p. 78 ~ 79.

Г. И. Князев, Е. С. Шевченко: ニコポリ盆地のマンガン鉱の累帯配列と成因, p. 79 ~ 81.

A. Д. Петровский: 繰返し統計的対比データによる各種の珪酸塩堆積環境におけるマンガンの挙動について, p. 81 ~ 82.

Г. Ф. Макаренко, Р. Г. Матухин: シベリア卓状地西部のデボン紀における鉄—マンガン鉱化作用の作用位置条件, p. 82 ~ 83.

C. C. Шульц: スルタン—ウイズダク山脈のマンガン鉱の成因について, p. 84.

E. A. Соколова: 火山源堆積起源の鉱体胚胎位置の規則性を明らかにするための相解析, p. 85.

И. М. Варенцов: 現世湖盆と海盆における鉄鉱・マンガン生成過程の特徴の比較, p. 86 ~ 87.

7) **В. Г. Бондарчук (1970)**: 「構造圏の運動と構造 (Движение и структура тектоносферы)」, ナウコバ ズムカ出版所, 189 p., 図13, 表 1, 文献 253, 22 cm × 15 cm (露文)

目 次

序文

マントルと地殻

大陸地殻の花崗岩層の起源

構造圏の熱流と物質組成の変化    鉱物物質の循環とリソジェネシス    変成作用    地殻と盆地の堆積層

地球の運動と構造圏

惑星としての地球の運動    構造地質学的運動    重力による運動

地殻の惑星規模の断層

大陸の深在断層    中央海嶺の隆起    周縁深在断層    造山運動断層    衝上断層とそのルーフ  
割れ目・破碎帯・擾乱帯    大陸の移動

海底の構造圏の構造

海洋地殻    太平洋下の構造    インド洋下の構造    大西洋下の構造    北氷洋下・内海下の構造

大陸地殻の構造

大陸卓状地下の構造    活運動帯の構造    カレドニア山塊    ヘルシニア山塊    キンメリア山塊  
アルプス山塊